



平成 20 年 11 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 茨城銀行
 代表者名 取締役頭取 溝田 泰夫
 問合せ先 総合企画部長 野口 稔夫
 (TEL. 029-231-3174)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 15 日の平成 20 年 3 月期決算発表時に公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の単体及び連結の業績予想について、以下のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想の修正

(1) 単体業績予想

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	10,200	300	200
今回修正予想 (B)	10,800	△ 170	△ 550
増減額 (B-A)	600	△ 470	△ 750
増減率	5.8%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	11,094	187	△ 77

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

(2) 連結業績予想

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	10,400	300	200
今回修正予想 (B)	10,380	60	△ 300
増減額 (B-A)	△ 20	△ 240	△ 500
増減率	△ 0.1%	△ 80.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 9 月期)	11,286	55	△ 203

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

(1) 単体業績予想の修正理由

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(中間期)の業績は、世界的な金融市場の混乱による影響を受け、資金運用収益が伸び悩んだことや投資信託販売が当初計画を下回ったことなどにより、コア業務純益は当初計画の 94%程度に止まる見込みです。また、茨城県内において倒産件数が増加するなど、当行の主要な取引先である中小企業を取り巻く経済情勢が厳しさを増していることから、与信先に対する自己査定の更なる厳格化を図り、予防的な与信費用を計上しました。

こうしたことから、平成 20 年 3 月期決算発表時に公表しました中間期の業績予想を、経常収益 108 億円、経常損失 1 億 70 百万円にそれぞれ修正いたします。

また、今後予想される金融機関の厳しい収益環境を勘案し、繰延税金資産の計上の前提となる将来収益の見積もりをあらためて保守的に見直すこととしたことから繰延税金資産を 4 億 90 百万円取り崩す予定です。これにより中間純損失 5 億 50 百万円に修正いたします。

(2) 連結業績予想の修正理由

連結業績についても、上記の銀行単体の業績予想の修正を受け、経常収益 103 億 80 百万円、経常利益 60 百万円、中間純損失 3 億円にそれぞれ修正いたします。

(3) 平成 21 年 3 月期通期の業績予想について

平成 21 年 3 月期通期(平成 21 年 3 月期)の業績予想については、依然として金融市場の変動が大きいことから、現在、検討中であり、平成 20 年 11 月 14 日に予定しております決算発表の際にお知らせいたします。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
総合企画部 主計広報グループ
横山、野溝
TEL : 029-231-3174 (直通)